

たすけあいプロジェクト

足助病院 早川富博

2018/9/30 移動ネットあいち 南生協病院

<西三河北部医療圏>

豊田市・みよし市

人口:481,585人

面積:950.58km² 平成22年4月1日時点



<豊田市> 平成30年8月1日時点

人口:425,926人

面積:918.47km²

高齢化率:23.2% 463人/km²

<西三河中山間地域>

足助・稲武・旭地区

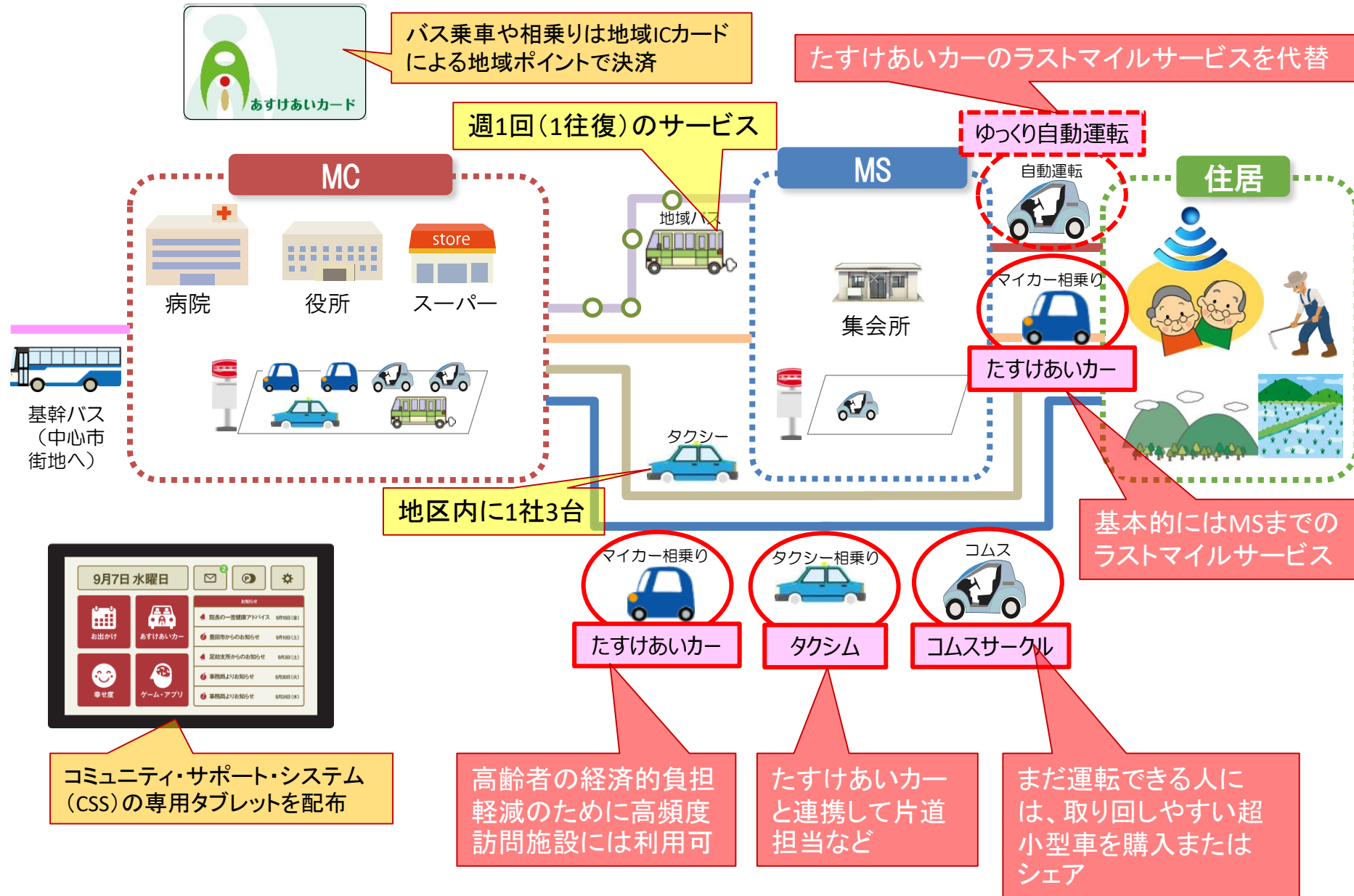
人口:12,789人

面積:374.06km²

高齢化率:43.1% 34.2人/km²

足助・旭・稲武地区の人口構成

| | 全人口 | 65歳以上 | 比率 | 75歳以上 | 比率 | 65-74歳 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 足助 | 7794 | 3180 | 40.8% | 1794 | 23.0% | 1386 |
| 旭 | 2701 | 1236 | 45.8% | 708 | 26.2% | 528 |
| 稲武 | 2294 | 1106 | 48.2% | 667 | 29.1% | 439 |
| 計 | 12789 | 5522 | 43.2% | 3169 | 24.8% | 2353 |



- 足助・旭・稲武地区の拠点病院
- 地区唯一のスーパー、役所支所、GS、コンビニなどが集約
- 豊田市都心部への基幹バス、足助地区内のコミュニティバス、タクシー乗り場が集約
- 病院内に「たすけあいプロジェクト」の事務所を設置
- 「院長サロン」「脳いきいき倶楽部」「タブレット教室」「おひさまカフェ」などお出かけイベント開催



- インターネットを敷設（ケーブルTV系、または格安SIM利用携帯網系）
- ネットにつながった人感センサー敷設（健康見守り希望者）
- CSS(コミュニティ・サポート・システム)をホームアプリとして組み込んだタブレット端末を貸与



タブレット講習会に参加して、タブレットを使いこなす高齢者が増えています。



教室で教えてくれること

演歌・懐メロの視聴

家族とのテレビ電話

メールのやり取り

タブレットによる写真撮影

脳トレになるゲームのやり方

移動手段の予約



カレンダーから参加したいイベントをタッチ



リクエスト

1 同乗のお願いを登録



オファー

2 お願いの確認・同乗の承認を登録



3 乗車予約が成立



4 出発地にお迎えに行く



5 目的地に到着



マッチングできれば経路表示も



【参考】交流会の開催

目的 あすけあいプロジェクト参加者の交流を深めるとともに、サービス改善への意見や、新規参加希望者への実施内容の説明

参加者

- ①あすけあいプロジェクト参加者とその家族
- ②ボランティアドライバー
- ③参加者が選定した見守りの第三者（緊急時に家族の依頼でかけつける方）
- ④区長さん、自治会長さん、地域住民

実施内容

- 1.実施サービスへの感想や意見
- 2.家族としてのプロジェクトへの関わり方
- 3.参加者の獲得方法について 等

【高齢者より】

- 自分の地区にドライバーがいるのを知らなかった。免許返納後の事も少し気が楽になった。

【ドライバーより】

- 5年、10年後には自分が高齢者になっている。ドライバーとして協力しておく、自分が高齢になった時にも安心できる。
- もっとあすけあいカーが浸透して欲しい。高齢者に対し、ドライバーが大勢いると良い。

【地域住民より】

- 自治会長、副会長はドライバーに強制登録でも良いのでは？
- 子どもに世話をかけたくないという方こそ、あすけあいカーがぴったりだと思う。
- こういう集まりを定期的で開催して欲しい。



■ 足助病院の総合受付のカウンター

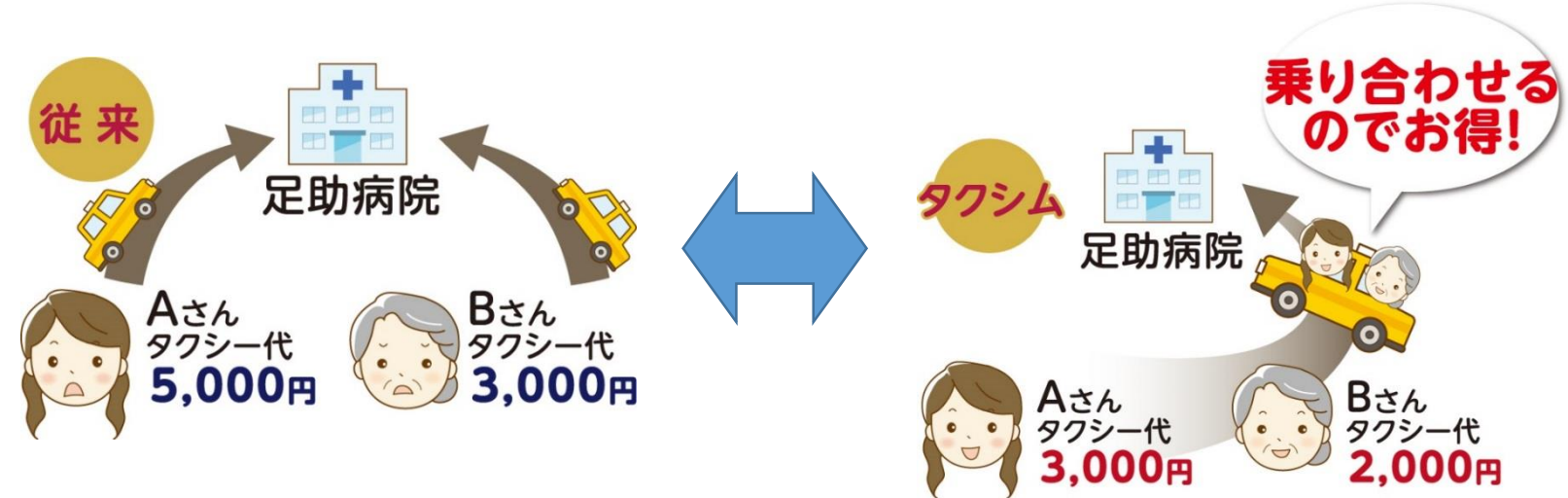


専用のキオスク端末を設置
カードで起動



入力は簡単
スタッフによる代行入力

■ 公平な料金負担



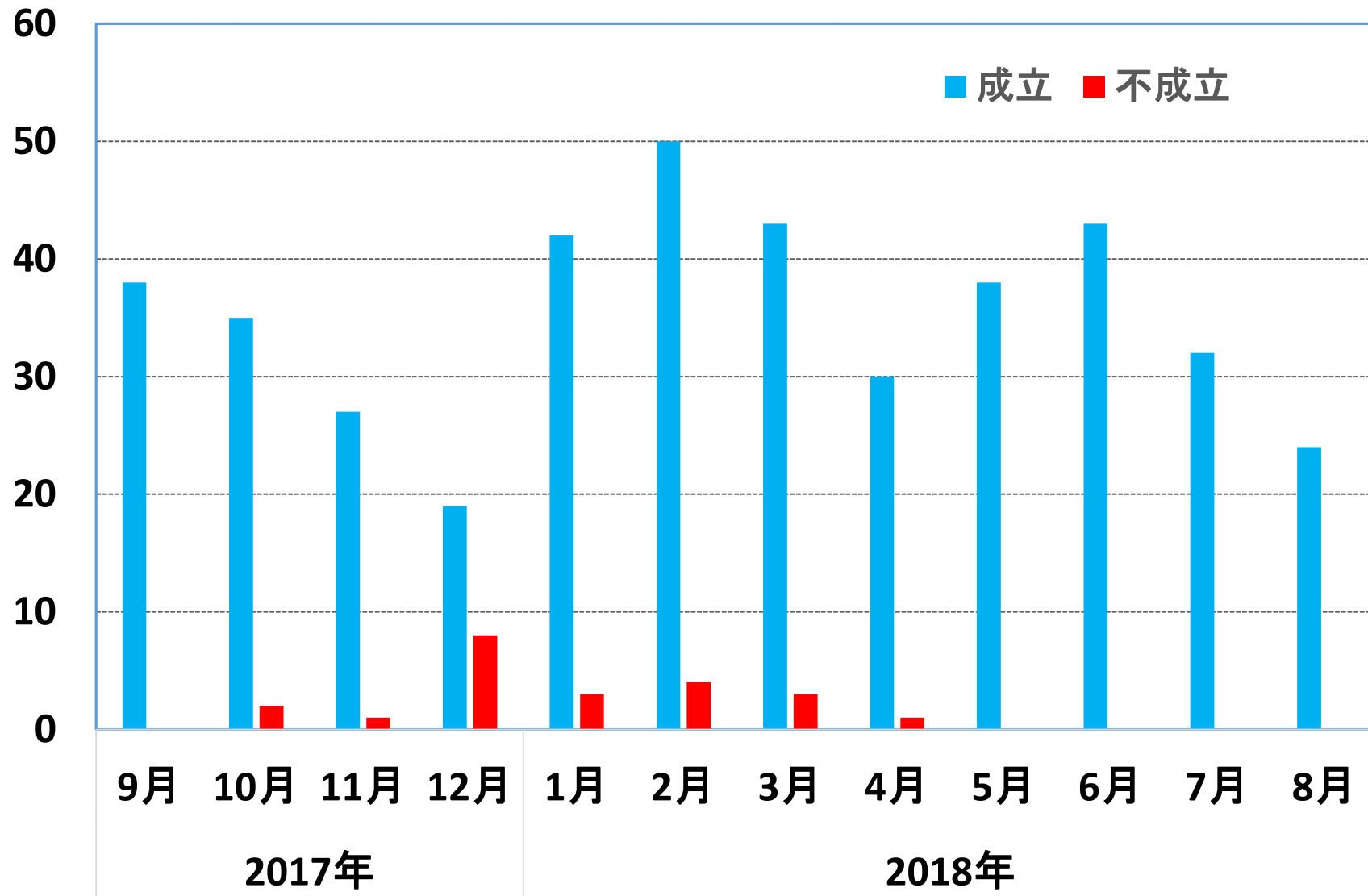
たすけあいプロジェクト参加者内訳 (2018/8/31)

| 地区 | 参加者 人感センサー +タブレット | 参加者 +タブレット | 計 | 登録ドライバー |
|----|-------------------------|---------------|---------|---------|
| 足助 | 32(17) | 15 (11) | 47(28) | 53 |
| 旭 | 16(5) | 1(1) | 17(6) | 11 |
| 稲武 | 15(8) | - | 15(8) | 2 |
| 計 | 63 (30) | 16 (12) | 79 (42) | 65 |

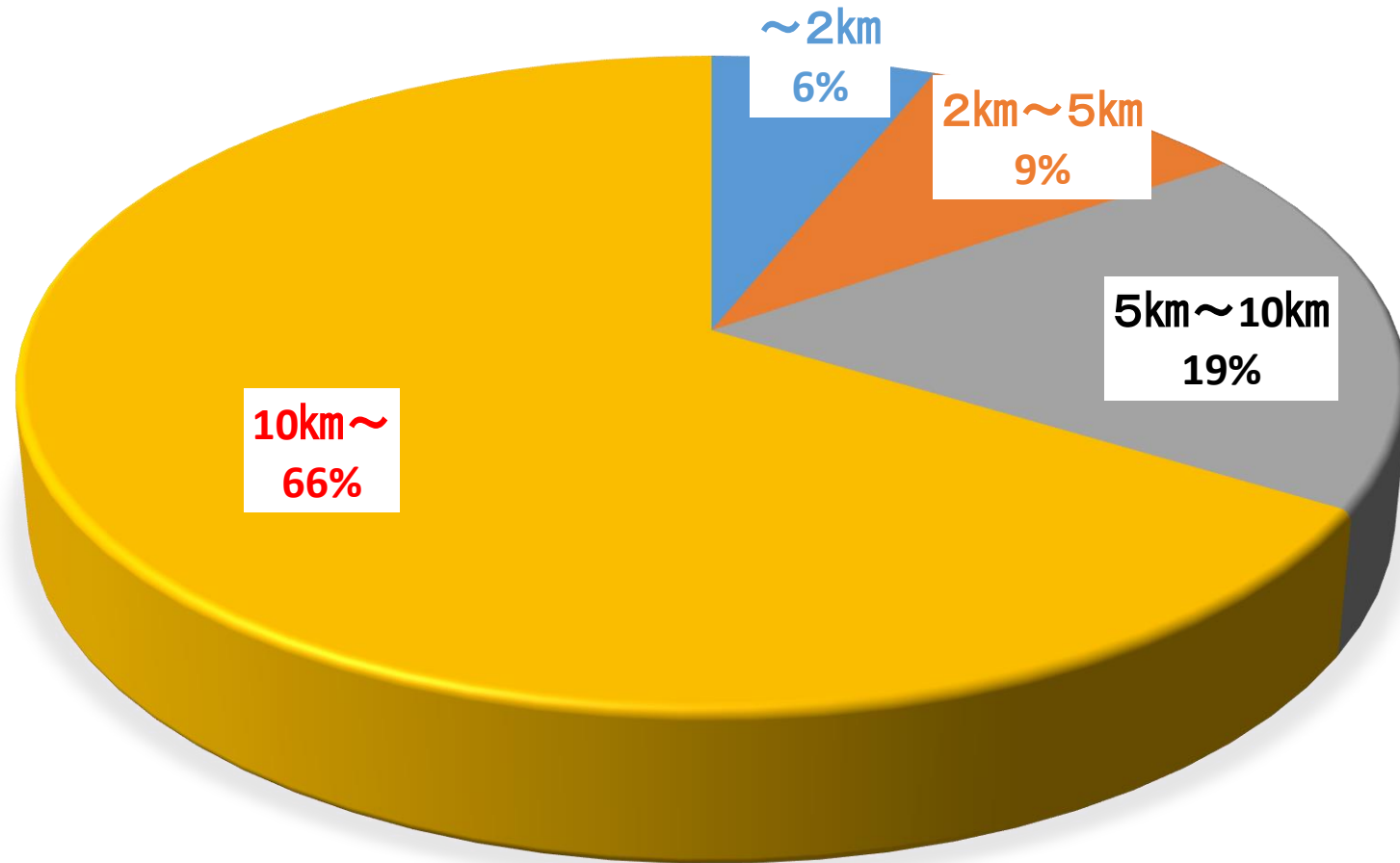
(ひまわりネット回線利用)

参加者数79名、76世帯(延べ人数:102名・世帯96)
稲武地区は現在20を超えている。

たすけあいカー 月別マッチング(2018/8/31)

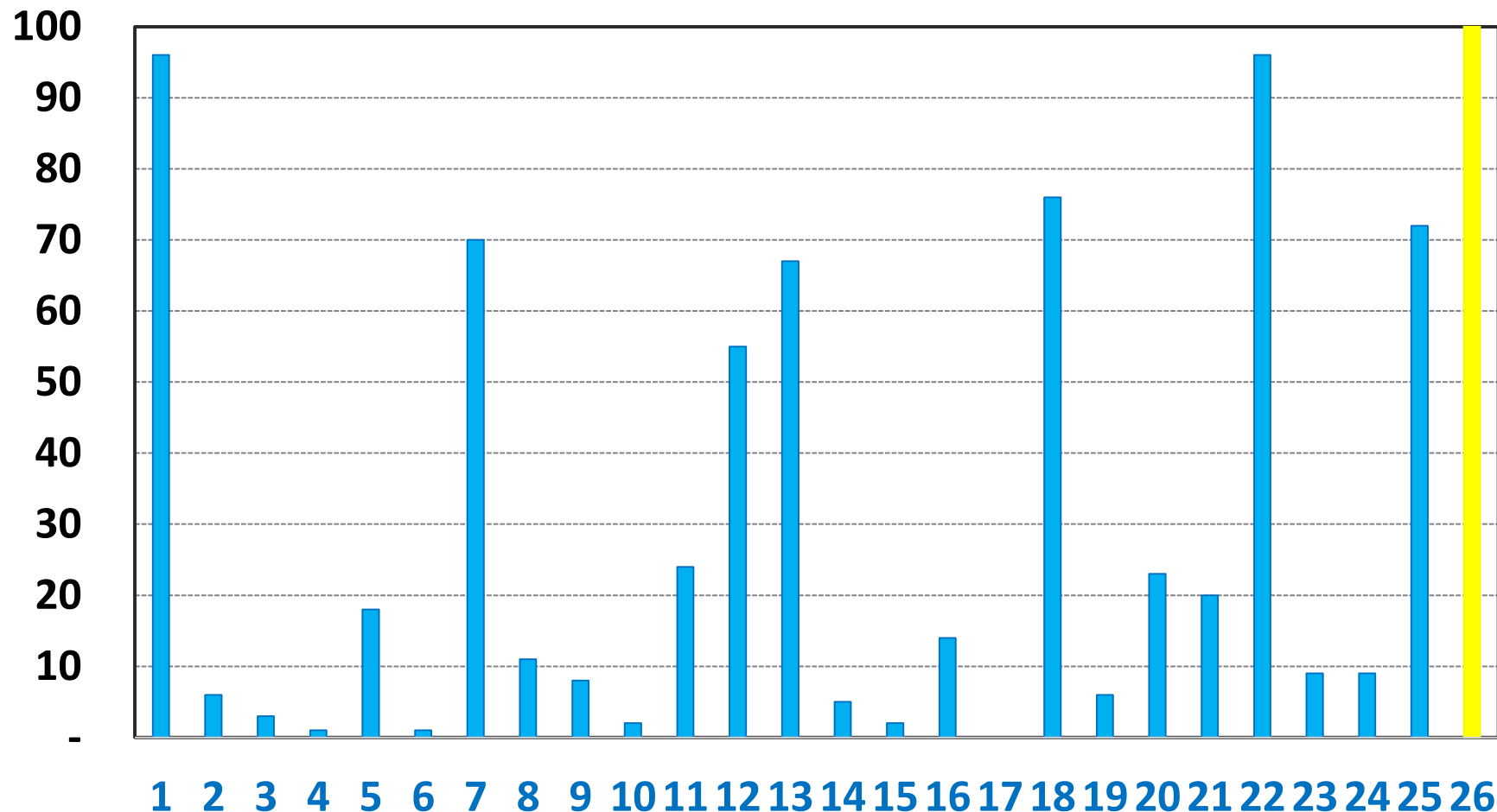


たすけあいカー 距離輸送(最近3月)



目的地は病院・診療所がほとんど

たすけあいカー 個人別提供数(1年間)

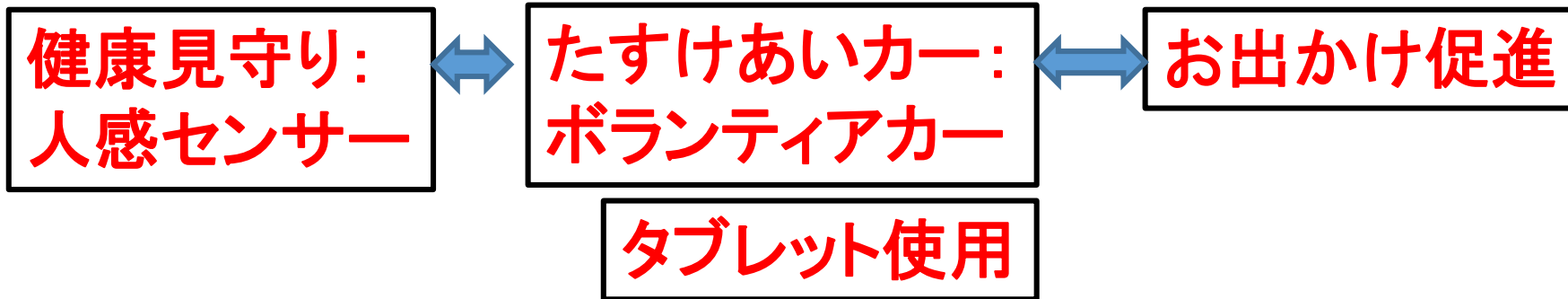


合計 年間838回. 26番は事務局144回(17%):タブレット教室参加のため
純粹なマッチングは年間694回=月58回

スーパードライバー(回数の多い提供者)

- | | | |
|-----------------|---------|-----|
| • 70代男性・ドライバー登録 | H28年3月 | 67回 |
| • 70代男性・ドライバー登録 | H28年1月 | 70回 |
| • 60代女性・ドライバー登録 | H27年12月 | 76回 |
| • 60代男性・ドライバー登録 | H28年11月 | 96回 |
| • 70代醸成・ドライバー登録 | H27年12月 | 96回 |

たすけあいプロジェクトの課題 1



- 居宅の通信環境(ひまわりネット利用者が半数)
- 現状の運営にかかる人員 2~2.5人
- 利用者負担の問題:

3500円(通信1000円, サーバ使用料1000円事務費1500円)

ひまわりネットの通信費2800円

たすけあいプロジェクトの課題 2

- ボランティアカーの登録者不足
事故を起こした場合の保険の課題
- 輸送範囲の問題
目的地の設定：輸送距離と事故率
公共交通機関との関係（バス，タクシー）
- 謝礼の気持ち
- 地域ごとに考え方が異なる（多様性）
自治区（2~3合同）ごとの交流会が重要

たすけあいプロジェクトを持続可能な組織へ

- 「地域を良くしたい」という熱意を持った地域人の同意と参加が重要
- 今後は、仮称「地域課題解決会社」が設立されて、プラットフォームを運営し、そこに小さな地域（2～3の自治区）ごと、または得意分野の組織が参加して多様性のある地域課題解決を図る。